

平成26年度（公財）日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験問題

平成26年7月5日（土）

平成26年7月6日（日）実施

【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。

問1 次の平成26年度6人制競技規則について、（ ）に当てはまる語句または数字を【語群】の中から選んで答えてください。語句や数字は何度使っても構いません。

- ① 表面は、平坦かつ水平で、（ 1 ）でなければならない。選手に（ 2 ）の危険が及ばないものでなければならない。粗い表面、または滑りやすい表面でプレーすることは禁止される。FIVB世界・公式大会で許可されるのは、（ 3 ）または合成材の表面だけである。すべての表面は、事前にFIVBの（ 4 ）を受けなければならない。
- ② 競技エリアは、コートと（ 5 ）を含む。長方形で（ 6 ）でなければならない。コートは（ 7 ）m×（ 8 ）mの長方形で、最小限（ 9 ）mの幅の（ 10 ）で囲われている。フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限（ 11 ）mの高さがなければならない。
- ③ FIVB世界・公式大会では、（ 12 ）の幅はサイドラインから最小限（ 13 ）m、エンドラインから最小限（ 14 ）mなければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限（ 15 ）mの高さが必要である。
- ④ すべてのラインは幅（ 16 ）cmである。それらは明るい色で、フロアおよび他のラインと異なる色でなければならない。アタックラインは、それぞれのコートに、そのライン幅の後端がセンターラインの幅の中心から（ 17 ）mとなるように引かれる。アタックラインにより（ 18 ）が区画される。FIVB世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ（ 19 ）cm、幅（ 20 ）cmの短いラインを（ 21 ）cm間隔で、全長（ 22 ）mとなる破線を引き、延長される。
- ⑤ フロントゾーンは、それぞれのコートで、センターラインの幅の中心とアタックラインの幅の（ 23 ）により区画される。フロントゾーンは、サイドラインの外側に（ 24 ）の端まで広がっているとみなされる。
- ⑥ 各チームは、1セットにつき（ 25 ）回までのタイムアウトと、（ 26 ）回までの選手交代を要求することができる。
- ⑦ ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは男子（ 27 ）m、女子（ 28 ）mである。ネットの高さは、コートの（ 29 ）で測定する。両サイドライン上のネットの高さは、完全に同じ高さで、規定の高さから（ 30 ）cmを超えてはならない。ネットは、縦幅（ 31 ）m、長さは（ 32 ）～（ 33 ）m（サイドバンドの外側は両端各25～50cm）で、10cm角の黒い網目で作られている。その上部には、（ 34 ）cm幅で二つ折りの白いキャンバス地の水平帯（白帯）が、全長にわたり縫い付けられている。ネットの下部には、上部と同様の幅（ 35 ）cmの水平帯（白帯）があり、その中にロープが通っている。
- ⑧ アンテナは長さ（ 36 ）m、直径（ 37 ）mmの弾性のある棒で、（ 38 ）または類似の素材で作られている。アンテナの上部（ 39 ）cmはネットの上方に伸び、この部分には（ 40 ）な色で、できれば赤と白で（ 41 ）cmごとのストライプを付ける。アンテナは（ 42 ）の一部とみなされ、ネット上方の（ 43 ）の横の限界を定める。
- ⑨ 競技場の最低気温は、（ 44 ）℃（50°F）を下回ってはならない。FIVB世界・公式大会では、最高気温は（ 45 ）℃（77°F）を上回ってはならない。また、最低気温は（ 46 ）℃（61°F）を下回ってはならない。

- ⑩ サービスとブロックを除き、ボールを相手チームに送るすべての動作は、(47) とみなされる。(47) は、ボールがネットの垂直面を完全に (48) した時点、または相手選手に (49) した時点で完了する。
- ⑪ ペナルティエリアは、それぞれのエンドライン延長線上の外側でコントロールエリア内に約 (50) m×(50) mの広さで、(51) 脚の椅子を用意し設けられる。ペナルティエリアは5 cm幅の (52) ラインで区画される。
- ⑫ 2本のサイドバンドが、ネットに (53) にしっかりと取り付けられる。その位置は両サイドラインの真上となる。サイドバンドははば (54) cm、長さ1 mで、ネットの一部とみなされる。
- ⑬ ボールの規格は、円周 (55) ～ (56) cm、重さ (57) ～ (58) g、内気圧 (59) ～ (60) k g / c m²である。

【語群】

280	65	前端	1500	6	1	9.5	2.38	1.75
2.40	黒い	205	270	対照的	0.315	許容空間	支柱	ネット
サービス ゾーン	プラス チック	ファイバー グラス	鉄製	左右対称	バック ゾーン	正方形	フロント ゾーン	フリー ゾーン
バック	中央部	2	7	2.24	10	8	9	2.43
260	フロント	67	25	5	15	12.5	18	20
赤い	3	80	白い	0.310	長方形	4.61	4.26	2.15
プレー	30	16	0.325	1300	60	1000	0.30	1.80
アタック ヒット	垂直	通過	接触	後端	負傷	均一	木製	承認

問2 次の競技規則の文章について、取り扱いが正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) サーバーは、主審がサービスのホイッスルをした後、8秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
- (2) 相手チームのサービスをブロックすることは許されない。
- (3) 1回または2回のタイムアウトの要求、および1回の選手交代の要求は、どちらのチームがしても、同じ中断の中で連続して行うことができる。
- (4) ラインアップシートが副審または記録員にいったん提出されたなら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することは認められない。
- (5) 各チームは、記録用紙の選手リストの中から守備専門の選手であるリベロを2名指名しなければならない。
- (6) 1人または2人以上のブロッカーによるボールへの連続的な（速くて途切れない）接触は、1つの動作中であっても反則となる。
- (7) ブロッカーは、相手チームがアタックヒットを行うまでは、ネットを越えてボールに接触することは許されない。
- (8) バックプレーヤーは、バックゾーン（フロントゾーンの後方）からであれば、どの高さでもアタックヒットを完了することができる。
- (9) 反則（ネットタッチ、センターライン踏み越しなど）をしそうになる選手をチームメイトが静止したり、引き戻したりしても反則にならない。
- (10) リベロのリプレースメントは、ボールがアウトオブプレーの状態でもなくても行える。

問3 次の文章は、競技規則「第7章 競技参加者の行為」のうち「不法な行為とその罰則」についての取り扱いです。その内容が正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) セットの開始前、またはセット間の不法な行為に対しては、直後のセットに罰則を適用する。
- (2) 軽度な不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。
これは2段階で処置される。
ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
ステージ2：該当する選手にイエローカードを使用して警告をする。
- (3) チームメンバーによる試合での最初の無作法な行為も、ステージ1を適用し、2回目で相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。(ペナルティとしてレッドカードを示す。)
- (4) 身体的攻撃をする、または攻撃的、威嚇的な行為は、それが1回目であっても失格となる。(レッドカード、イエローカードを別々に示す。)
- (5) 同じ試合で同じチームメンバーが不法な行為を繰り返した場合でも、無作法な行為であれば2回目以降もペナルティとしてレッドカードを示し、相手チームに1点とサービスを与える。

問4 次の文章は、競技規則「第6章 リベロ」に関する取り扱いです。その内容が正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) リベロは、チームキャプテンにはなれるが、ゲームキャプテンになることができない。
- (2) リベロは、サービス、ブロック、またはブロックの試みをしていても良い。
- (3) リベロが、自チームのフロントゾーン内で、指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールは、他の選手がネット上端より高い位置からアタックヒットを完了することができる。
- (4) リベロはバックプレーヤーとしてのみ活動することができ、いかなる場所からでも、ボール全体がネット上端より高い位置にあるときは、アタックヒットを完了することは許されない。
- (5) リベロとその入れ替わる選手は、リベロリプレイメントゾーンを通じてのみコートに出入りできる。

問5 次の文章は、競技規則「第5章 中断、遅延行為とインターバル」に関する用語の説明です。
() にあてはまる語句を解答欄に記入してください。

1. 遅延行為の種類

- (1) (A) するよう指示された後、中断をさらに引き延ばすこと。
- (2) (B) 選手交代を要求すること。(規則15.9)
- (3) (C) が試合を遅らせること。
- (4) 正規の (D) を遅らせること。(規則15.10.2)
- (4) (E) を繰り返すこと。(規則15.11.3)

2. 不当な要求

- (1) (F) のないチームメンバーが中断の要求すること。(規則5.1.2.3, 5.2.3.3)
- (2) インプレー中の選手の負傷や病気の場合を除いて、同じチームが同じ中断中に (G) の選手交代を要求すること。(規則15.2.2, 15.2.3)
- (3) (H), またはサービスのホイッスルと同時か、あるいはその後に中断を要求すること。(規則12.3)
- (4) タイムアウトと選手交代の (J) を超えて要求すること。(規則15.1)
- (5) 試合での1回目の不当な要求は、試合に影響を与えず、試合の遅延にならなければ拒否される。制裁を受けることはないが、記録用紙には記録される。(規則16.1) 同じチームが試合中に、さらに不当な要求をした場合は (I) とみなされる。

問6 次の文章は、競技規則「第2編 審判員とその責務および公式ハンドシグナル」の中の「主審および副審の責務」に関するものです。主審の責務であれば「F」を、副審の責務であれば「S」を、両方の責務であれば「FS」を記入してください。

- ① レシービングチームのポジションの反則のとき。
- ② ボールをプレーするときの反則。
- ③ 主としてブロッカー側のタッチネットの反則と、選手が副審側のアンテナに触れたとき。
- ④ サーバーおよびスクリーンを含むサービングチームのポジションの反則。
- ⑤ 相手コートおよびネット下方の空間へ侵入したとき。
- ⑥ 自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドでパスを上げ、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したとき。
- ⑦ バックプレーヤーがブロックの完了をしたときや、リベロがブロックの試みをしたとき。または、バックプレーヤーやリベロのアタックヒットの反則のとき。
- ⑧ 相手コートに向かうボールの全体またはその一部が副審側の許容空間外側を通過したとき、あるいは副審側のアンテナにボールが触れたとき。
- ⑨ ネットの上方の反則と、主としてアタッカー側のタッチネットの反則。
- ⑩ ボールがフロアに触れて、主審がその接触を確認できないとき。

平成26年度（公財）日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	
----	--	----	--

問1〈各1点×60〉

①				
1	2	3	4	5
①		②		③
6	7	8	9	10
③				
11	12	13	14	15
③		④		⑤
16	17	18	19	20
⑥			⑦	
21	22	23	24	25
⑦		⑧		⑨
26	27	28	29	30
⑨				
31	32	33	34	35
⑨			⑩	
36	37	38	39	40
⑩				
41	42	43	44	45
⑩		⑪		
46	47	48	49	50
⑪		⑫		
51	52	53	54	55
⑫			⑬	
56	57	58	59	60

問2 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

問3 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問4 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問5 〈各1点×10〉

1. 遅延行為の種類	(1)	2. 不当な要求	(1)
	A		F
	(2)		(2)
	B		G
	(3)		(3)
	C		H
	(4)		(4)
	D		I
	(5)		(5)
	E		J

問6 〈各1点×10〉

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

平成26年度 (公財)日本バレーボール協会公認 B級・C級公認審判員資格認定審査会
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	模範解答	
----	--	----	-------------	--

問1 (各1点×60)

①				②
1	2	3	4	5
均一	負傷	木製	承認	フリーゾーン
②				
6	7	8	9	10
左右対称	18	9	3	フリーゾーン
②	③			
11	12	13	14	15
7	フリーゾーン	5	8	12.5
④				
16	17	18	19	20
5	3	フロントゾーン	15	5
④		⑤		⑥
21	22	23	24	25
20	1.75	後端	フリーゾーン	2
⑥	⑦			
26	27	28	29	30
6	2.43	2.24	中央部	2
⑦				
31	32	33	34	35
1	9.5	10	7	5
⑧				
36	37	38	39	40
1.80	10	ファイバーグラス	80	対照的
⑧			⑨	
41	42	43	44	45
10	ネット	許容空間	10	25
⑨	⑩			⑪
46	47	48	49	50
16	アタックヒット	通過	接触	1
⑪		⑫		⑬
51	52	53	54	55
2	赤い	垂直	5	65
⑬				
56	57	58	59	60
67	260	280	0.30	0.325

問2 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	○	○	×
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	○	○	×

問3 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	×	○	×

問4 〈各1点×5〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	×	○	○

問5 〈各1点×10〉

1. 遅延行為の種類	(1)	2. 不当な要求	(1)
	A 試合を再開		F 要求する権利
	(2)		(2)
	B 不法な		G 2回目
	(3)		(3)
	C チームメンバー		H ラリー中
	(4)		(4)
	D 試合中断		I 許容回数
	(5)		(5)
E 不当な要求	J 遅延行為		

問6 〈各1点×10〉

①	②	③	④	⑤
S	F	S	F	S
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
FS (Fのみでも可)	FS	S	F	S